

第18回 奈良県営競輪あり方検討委員会 議事概要

1. 開催日時：令和元年10月31日（木）18:00～19:30

2. 開催場所：奈良県営競輪場 飛天交流館 2階

3. 出席者

【出席委員（五十音順 敬称略）】

石黒 良彦 委員（奈良県弁護士会 会長）

上垣 憲一 委員（奈良サイクリング協会 理事長）

粕井 憲 委員（南都経済研究所 元理事長）

佐野 智世 委員（戦略マーケティング研究所 ケイ・ファクトリー代表）

【事務局】産業・雇用振興部 中川部長 大西次長

地域産業課 山田課長 山崎課長補佐 苅阪地域産業振興係長 鈴木主任主査
競輪場 森本場長 南次長 平野総務企画係長

4. 公開・非公開の別

公開

5. 議事

【開会の挨拶】中川部長

【委員長選考】委員の互選により、粕井委員を委員長に選出

【議 題】

○議題1 「奈良県営競輪の経営状況について」

事務局より説明

・委員意見

<粕井委員長>

- ・奈良競輪場の施行事業者としての改善努力があるが、施行事業者だけの努力で競輪事業が改善するとは思えない。競輪業界全体としてはこうならないのかと問いかけていくべき。この3年間の売上増加だけを見ていては判断を誤るのではないか。
- ・競輪業界の運営について、中央団体に売上金全体の歩合で上納金を納めている。他の業界では、売上の原価を除いた利益に対して何%かのマージンを取るのが常識。
- ・機械産業の発展という目的で競輪の中央団体から補助金を出しているが、

ほとんど海外で作られた物を輸入し、高度なギヤチェンジとか一部の部品のみ作っている機械産業を補助する構造について、問題点をチェックし見直すべきだと思う。

- ・競輪の売上げが過去の 300 億円から現在は 120～130 億円まで落ちているのに、以前と同じような感覚でいることを中央団体に対して意見を出していないのか。
- ・来場者がセンターホールのモニターで観戦するようになっているのに観覧席がいるのか考えるべき。

<上垣委員>

- ・サイクリング協会の現状でいうと、自転車人口は減少しており、自分だけで楽しみたいという人が増えている様に思われる。自転車の販売台数も減少している。
- ・日本サイクリング協会も以前は JKA から補助金があったが、今はない。
- ・競輪場の入場者数が減少するのなら、JR 奈良駅や近鉄奈良駅や県庁バスターミナルに車券売場を作り、インバウンド向けにスクリーン映像で周知してはどうかと思う。

(事務局)

- ・総務省に対して、地方公共団体金融機構納付金制度の廃止を公営競技団体から要望している。

○議題2「令和4年度以降の競輪事業のあり方にかかる事項について」

事務局より説明

委員意見

<石黒委員>

- ・老朽化した施設の対応は公的施設における安全性の確保のためにもきちんとすべき。競輪場の改修・解体の計画や地域に親しまれる施設として活用することは賛成。
- ・しかし、競輪事業は、地方公営競技は収益を上げるのが使命ではなく、健全な娯楽として活用し、その収益を財政難であった地方公共団体の財源とするものだと思うので、「新たな収益確保策」については意見がある。
- ・自分の手持ち資金の範囲内で、健全な娯楽として楽しむという観点も必要。
- ・競輪場の維持のための収益確保は必要だが、「新たな収益確保策」の取扱は気をつけないといけない。

<佐野委員>

- ・マーケティングの立場では、過去の例ではなく、投資して回収できるのか、

どこまで投資してよいのか判断するためにも今後の収支シミュレーションを確認したい。

- ・2025年になると75歳人口は5人に1人になり、65歳人口も3人に1人になる状況や消費税も10%以上になる事も含めて今後の収支シミュレーションに反映させているのではないか。
- ・電投が伸びているという話だが、電投で車券を購入している年齢層や年金をもらっている人たちが今後も買い続けてくれるのか、売上げの状況などわからない数字が多いので、資料提供をお願いする。

< 鮎井委員長 >

- ・このまま投資していくのか、競輪事業としてどう考えていくべきか、今後の大きな経営課題であるが、今後検討している耐震工事とか諸々の整備計画は自前の基金で行うというのなら良い。
- ・競輪場の実際の稼働は年間の半分位なので、無駄な物を全て撤去して、設備をスポーツ関係に貸して賃貸料収入を得るような検討もしてはどうか。
- ・競輪場の塀も外から中が全く見えないのは良くない。全てオープンにする必要はないが、環境や見栄の良さも考えないといけない。
競輪場の正面玄関も芝生をはり公園にすればどうか。
- ・今まで検討した視点でスケジュール化しているので、この形で進めてもらって良いと思う。

(事務局)

- ・競輪事業は従業員の生活を支えてきたし、選手会も含めて競技団体の生活も支えてきたのは事実であり、行政事業としてそれで良かったと思う。
- ・競輪場は良い場所にあるので、皆さんに来てもらえるよう必要最小限の改修や必要な整備で何を優先するのかについて委員の皆さんの意見をいただきたい。
- ・シミュレーションも手堅く見積もるのかどうかで変わってくるし、インターネットの活用や、奈良は海外からの観光客も多いので、インバウンド向けも考えてもよいかもしれない。
- ・競輪場の基金については、どの位持っておけばいいのか委員の皆さんの意見をいただきたい。
- ・少しずつ収益も良くなり、将来のことも考えることもできるようになった。閉鎖しようかというところから、回復してきたので、恵まれた立地条件をうまく利用していきたい。かなり長期の整備計画になると思うが、委員の皆さんの意見を聞きながら進めたい。

○議題3 その他 「次回のあり方検討委員会の議題について」

事務局より説明

委員意見

<佐野委員>

- ・ 次回の会議では収支シミュレーションは出るのか。

<粕井委員長>

- ・ 産業構審議会製造作業分科会作業協議小委員会の資料は、中央団体の方向性など参考になるので、提供願いたい。

(事務局)

- ・ 収支シミュレーションは事前にお渡しした上で、次回の会議を開催したい。
- ・ 産業構審議会製造作業分科会作業協議小委員会の資料も確認次第、提供させていただく。

以上